

# 天皇の系譜と三種の神器

皇位継承のシンボル＝鏡・玉・剣の物語 林 順治 著

定価 2,000 円＋税 / A5 判 並製 / ISBN978-4-86722-107-5 C0021 2022 年 2 月刊

## 天皇の系譜と 三種の神器

皇位継承のシンボル＝鏡・玉・剣の物語

林 順治

えにし書房

『神皇正統記』を通して  
中世日本の天皇家と台頭する武士との  
葛藤・内乱の南北朝動乱を物語る。

古代、中世、近代、そして現在に至るまでの天皇制と皇位継承のシンボル＝鏡・玉・剣  
(三種の神器) が、いかなる意味と価値をもったのか、世界的視野から見直す。

古代、中世、近代、そして現在に至るまでの天皇制と皇位継承のシンボル鏡・玉・剣（三種の神器）がいかなる意味とどのような価値をもったのか世界的視野から見直す。

とりわけ『神皇正統記』を通して中世日本の天皇家と台頭する武士との葛藤・内乱の南北朝動乱を物語る、林古代史最新作。

### 〈目次〉

#### 第 1 部

序 章 三種の神器の由来

第 1 章 皇位継承のシンボル

第 2 章 記紀神話の三種の神器

第 3 章 太安万侶の古事記序文

#### 第 2 部

第 4 章 『神皇正統記』と北畠親房

第 5 章 『神皇正統記』にみる後醍醐天皇

第 6 章 南北朝戦争

### 【著者紹介】林順治 (ハヤシ ジュンジ)

旧姓福岡。1940 年東京生まれ。東京空襲の 1 年前の 1944 年、父母の郷里秋田県横手市雄物川町深井（旧平鹿郡福地村深井）に移住。県立横手高校から早稲田大学露文科に進学するも中退。1972 年三一書房に入社。取締役編集部長を経て 2006 年 3 月退社。

著書に『馬子の墓』『義経紀行』『漱石の時代』『ヒロシマ』『アマテラス誕生』『武蔵坊弁慶』『隅田八幡鏡』『天皇象徴の日本と〈私〉1940-2009』『八幡神の正体』『古代七つの金石文』『法隆寺の正体』『ヒトラーはなぜユダヤ人を憎悪したか』『猫と「坊っちゃん」と漱石の言葉（彩流社）。『応神＝ヤマトタケルは朝鮮人だった』『仁徳陵の被葬者は継体天皇だ』（河出書房新社）、『日本人の正体』（三五館）、『漱石の秘密』『あっぱれ啄木』（論創社）、『日本古代史集中講義』『日本書紀』集中講義』『千支一運 60 年の天皇紀』『新装改訂版 八幡神の正体』『天皇象徴の起源と〈私〉の哲学』『日本古代史の正体』『天武天皇の正体』『日本書紀と古事記』（えにし書房）。

### 直取引代行 トランスビュー

えにし書房の商品は、トランスビューの取扱で納品します。直取引の条件はトランスビューの商品とすべて同じ（返品随時可）です。

取次ルートの場合は八木書店経由（返品可）です。トランスビューとお取引がない書店様は小社にご連絡ください。ご注文は 1 冊からお気軽に！

貴店名

ご担当

『天皇の系譜と  
三種の神器』

冊